

一 教学入門 一⑥ 立正安國と広宣流布

問1 立正安國について適切な言葉を入れて文章を完成させなさい。

(1)とは「正を立て國を安んずる」との意味です。

御書に「汝須く(2)を思れば先ず(3)を補らん者か」とあるように、自分ひとりだけの安泰を求める者とは仏法にはなく、仏法の生命尊厳の理念が社会の基本原理として確立し、社会の平和繁榮と人々の生活の安穏を実現する」とを田指します。

ア、一身の安堵 イ、立正安國 ウ、広宣流布 エ、四表の静謐 オ、折伏弘教

問2 広宣流布について適切な言葉を選んで文章を完成させなさい。

釈尊が法華經の中で「我が滅度の後、後の五百歳の中、閻浮提に(4)して、断絶して悪魔・魔民・諸天・龍・夜叉・鳩槃荼等に其の便を得しむ」と「無かれ」と説いたように、末法における世界広宣流布は仏の使命であり、それは(5)との戦いでもあります。

ア、広宣流布 イ、立正安國 ウ、三障四魔 エ、オ、

問3 次の御書の空欄に適切な言葉を入れなさい。

「大願とは(6)なり」

「日蓮が(7)曠大な(8)は万年の外・未來までもながるべし、日本国的一切衆生の盲田をひらかれる(9)あり、(10)の道をふやぎぬ」

ア、法華弘通 イ、慈悲 ウ、南無妙法蓮華經 エ、功德 オ、無間地獄

問4 次の文章の空欄に適切な言葉を入れなさい。

御書に「日蓮と同意な(11)たうんか」とあるように、大聖人の大願は、末法での出現を予言されていました(12)に託されています。

現在、大聖人の御心のままに世界広宣流布を現実に進めている団体は(13)だけです。

ア、地涌の菩薩 イ、創価学会 ウ、閻浮提 エ、広宣流布 オ、三障四魔